

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 株式会社ひろぎんホールディングス
 コード番号 7337 URL <https://www.hirogin-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 部谷 俊雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部経営企画グループ主計課長 (氏名) 山城 直之
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月17日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

上場取引所 東

TEL 082-245-5151

配当支払開始予定日 2026年6月4日
 特定取引勘定設置の有無 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	251,214	24.8	62,018	18.9	43,734	22.0
2025年3月期	201,368	8.2	52,176	52.8	35,835	29.4

(注) 包括利益 2026年3月期 84,459百万円(-%) 2025年3月期 △13,311百万円(-%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	経常収益経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	145.84	145.75	8.2	0.5	24.7
2025年3月期	118.55	118.49	6.9	0.4	25.9

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 72百万円 2025年3月期 56百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	12,210,589	568,824	4.7	1,904.72
2025年3月期	12,131,905	504,636	4.2	1,679.10

(参考) 自己資本 2026年3月期 568,596百万円 2025年3月期 504,409百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△345,169	△202,797	△20,907	1,116,522
2025年3月期	△897,433	△202,518	△17,718	1,685,379

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	23.50	—	24.50	48.00	14,666	40.5	2.8
2026年3月期	—	27.00	—	31.00	58.00	17,572	39.8	3.2
2027年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00		40.5	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,500	17.8	23,500	15.3	79.23
通期	74,500	20.1	51,000	16.6	172.73

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期	305,327,921株	2025年3月期	308,775,621株
2026年3月期	6,808,270株	2025年3月期	8,371,546株
2026年3月期	299,873,442株	2025年3月期	302,258,495株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 2
(4) 今後の見通し	P. 2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 2
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 連結貸借対照表	P. 3
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 5
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(セグメント情報等の注記)	P. 11
(1株当たり情報の注記)	P. 13
(重要な後発事象の注記)	P. 14

(補足説明資料) 2026年3月期 決算説明資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

①経営成績

連結経営成績につきましては、連結経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加により資金運用収益が増加したことから、前年度比498億46百万円増加の2,512億14百万円となりました。連結経常費用は、資金調達費用の増加に加え、国債等債券売却損の増加によりその他業務費用が増加したことから、前年度比400億4百万円増加の1,891億95百万円となりました。その結果、連結経常利益は前年度比98億42百万円増加の620億18百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年度比78億99百万円増加の437億34百万円となり、2年連続で過去最高益を更新しました。

②2026年3月期通期実績と前期実績との差異

地元を中心とした残高の積上げと利回りの改善による貸出金利息の増加や、収益力強化による有価証券利息配当金の増加により、資金運用収益が増加（前年度比+325億75百万円）したことに加え、株式等売却益の増加により、その他経常収益が増加（前年度比+120億92百万円）したことから、連結経常収益が増加しました。

	連結経常収益
前期（2025年3月期）（A）	百万円 201,368
当期（2026年3月期）（B）	251,214
増減額（B－A）	+49,846
増減率（%）	+24.8

(2) 当期の財政状態の概況

連結財政状態につきましては、総資産は前年度末比786億円増加の12兆2,105億円、負債は前年度末比145億円増加の11兆6,417億円となりました。また、純資産は前年度末比642億円増加の5,688億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、貸出金が前年度末比2,585億円増加の8兆1,930億円、預金等（譲渡性預金を含む）が前年度末比1,901億円増加の9兆6,273億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、借入金の減少や貸出金の増加などから、3,451億円の支出超過（前年度は8,974億円の支出超過）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出が売却・償還による収入を上回ったことなどから、2,027億円の支出超過（前年度は2,025億円の支出超過）となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などから、209億円の支出超過（前年度は177億円の支出超過）となりました。この結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前年度末比5,688億円減少の1兆1,165億円となりました。

(4) 今後の見通し

2026年度の業績予想は、次のとおりです。

【連結業績予想】

(億円)

	2026年度	前年比	2025年度
経常利益	745	125	620
親会社株主に帰属する 当期純利益	510	73	437

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準を適用しています。国際会計基準の適用については、内外の情勢等を踏まえながら、適切に対応してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
現金預け金	1,726,986	1,153,437
コールローン及び買入手形	63,746	201,874
買入金銭債権	8,908	9,758
特定取引資産	8,645	10,072
金銭の信託	13,022	13,921
有価証券	1,916,703	2,047,018
貸出金	7,934,540	8,193,073
外国為替	8,027	10,045
リース債権及びリース投資資産	71,572	74,612
その他資産	166,571	284,831
有形固定資産	112,044	110,184
建物	35,914	34,683
土地	53,213	52,888
リース資産	5,885	5,907
建設仮勘定	212	317
その他の有形固定資産	16,817	16,386
無形固定資産	16,295	20,240
ソフトウェア	9,908	9,728
のれん	145	5
その他の無形固定資産	6,240	10,506
退職給付に係る資産	48,144	59,783
繰延税金資産	19,701	2,310
支払承諾見返	55,988	62,553
貸倒引当金	△38,995	△43,128
資産の部合計	12,131,905	12,210,589
負債の部		
預金	9,277,057	9,481,425
譲渡性預金	160,242	145,905
コールマネー及び売渡手形	—	77,000
売現先勘定	249,066	274,389
債券貸借取引受入担保金	310,909	212,651
特定取引負債	6,122	7,561
借入金	1,443,553	1,180,735
外国為替	1,172	859
社債	—	30,000
信託勘定借	79	127
その他負債	106,631	149,433
退職給付に係る負債	689	666
役員退職慰労引当金	157	147
睡眠預金払戻損失引当金	1,668	1,397
ポイント引当金	225	332
株式給付引当金	942	1,095
特別法上の引当金	40	42
繰延税金負債	—	2,794
再評価に係る繰延税金負債	12,719	12,644
支払承諾	55,988	62,553
負債の部合計	11,627,269	11,641,764

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部		
資本金	60,000	60,000
資本剰余金	22,209	17,158
利益剰余金	423,980	452,193
自己株式	△8,284	△7,817
株主資本合計	497,905	521,534
その他有価証券評価差額金	△18,486	△8,113
繰延ヘッジ損益	1,923	28,251
土地再評価差額金	25,877	25,727
退職給付に係る調整累計額	△2,811	1,195
その他の包括利益累計額合計	6,503	47,061
新株予約権	126	126
非支配株主持分	100	100
純資産の部合計	504,636	568,824
負債及び純資産の部合計	12,131,905	12,210,589

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
経常収益	201,368	251,214
資金運用収益	124,714	157,289
貸出金利息	90,801	105,049
有価証券利息配当金	28,675	38,970
コールローン利息及び買入手形利息	641	1,179
預け金利息	3,166	6,742
その他の受入利息	1,430	5,347
信託報酬	149	246
役務取引等収益	38,233	41,372
特定取引収益	2,357	2,486
その他業務収益	27,434	29,247
その他経常収益	8,479	20,571
貸倒引当金戻入益	1,246	—
償却債権取立益	43	4,248
その他の経常収益	7,189	16,323
経常費用	149,191	189,195
資金調達費用	38,955	53,086
預金利息	10,226	22,898
譲渡性預金利息	278	930
コールマネー利息及び売渡手形利息	22	390
売現先利息	11,823	11,339
債券貸借取引支払利息	1,275	2,517
借入金利息	543	882
社債利息	—	162
その他の支払利息	14,784	13,965
役務取引等費用	12,324	13,728
その他業務費用	28,778	42,254
営業経費	64,194	69,518
その他経常費用	4,939	10,607
貸倒引当金繰入額	—	7,156
その他の経常費用	4,939	3,450
経常利益	52,176	62,018
特別利益	42	34
固定資産処分益	42	34
特別損失	1,177	561
固定資産処分損	486	221
減損損失	688	338
金融商品取引責任準備金繰入額	2	1
税金等調整前当期純利益	51,041	61,492
法人税、住民税及び事業税	16,067	15,877
法人税等調整額	△871	1,863
法人税等合計	15,196	17,741
当期純利益	35,845	43,751
非支配株主に帰属する当期純利益	10	17
親会社株主に帰属する当期純利益	35,835	43,734

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	35,845	43,751
その他の包括利益	△49,156	40,707
その他有価証券評価差額金	△42,436	10,373
繰延ヘッジ損益	620	26,327
退職給付に係る調整額	△7,340	4,006
包括利益	△13,311	84,459
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△13,321	84,441
非支配株主に係る包括利益	10	17

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	60,000	25,209	400,829	△7,111	478,927
当期変動額					
剰余金の配当			△13,076		△13,076
親会社株主に帰属する当期純利益			35,835		35,835
自己株式の取得				△5,001	△5,001
自己株式の処分				828	828
自己株式の消却		△2,999		2,999	—
土地再評価差額金の取崩			392		392
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△2,999	23,151	△1,172	18,978
当期末残高	60,000	22,209	423,980	△8,284	497,905

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	23,949	1,303	26,269	4,529	56,052	126	142	535,249
当期変動額								
剰余金の配当								△13,076
親会社株主に帰属する当期純利益								35,835
自己株式の取得								△5,001
自己株式の処分								828
自己株式の消却								—
土地再評価差額金の取崩								392
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△42,436	620	△392	△7,340	△49,549	—	△42	△49,591
当期変動額合計	△42,436	620	△392	△7,340	△49,549	—	△42	△30,613
当期末残高	△18,486	1,923	25,877	△2,811	6,503	126	100	504,636

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	60,000	22,209	423,980	△8,284	497,905
当期変動額					
剰余金の配当			△15,670		△15,670
親会社株主に帰属する当期純利益			43,734		43,734
自己株式の取得				△5,152	△5,152
自己株式の処分		△1,176		1,744	568
自己株式の消却		△3,874		3,874	—
土地再評価差額金の取崩			149		149
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△5,050	28,212	467	23,629
当期末残高	60,000	17,158	452,193	△7,817	521,534

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△18,486	1,923	25,877	△2,811	6,503	126	100	504,636
当期変動額								
剰余金の配当								△15,670
親会社株主に帰属する当期純利益								43,734
自己株式の取得								△5,152
自己株式の処分								568
自己株式の消却								—
土地再評価差額金の取崩								149
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	10,373	26,327	△149	4,006	40,558	—	0	40,559
当期変動額合計	10,373	26,327	△149	4,006	40,558	—	0	64,188
当期末残高	△8,113	28,251	25,727	1,195	47,061	126	100	568,824

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	51,041	61,492
減価償却費	7,123	7,008
減損損失	688	338
持分法による投資損益 (△は益)	△56	△72
貸倒引当金の増減 (△)	△12,522	4,133
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	3,091	△11,639
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5	△23
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7	△9
睡眠預金払戻損失引当金の増減 (△)	△159	△271
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	26	107
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△100	152
特別法上の引当金の増減額 (△は減少)	2	1
資金運用収益	△124,714	△157,289
資金調達費用	38,955	53,086
有価証券関係損益 (△)	736	5,355
固定資産処分損益 (△は益)	444	186
特定取引資産の純増 (△) 減	△1,689	△1,426
特定取引負債の純増減 (△)	1,678	1,438
貸出金の純増 (△) 減	△245,348	△258,532
預金の純増減 (△)	51,277	204,368
譲渡性預金の純増減 (△)	23,832	△14,337
借入金 (劣後特約付借入金を除く) の純増減 (△)	66,024	△262,817
預け金 (日銀預け金を除く) の純増 (△) 減	△4,826	4,691
コールローン等の純増 (△) 減	△13,519	△138,978
コールマネー等の純増減 (△)	△767,011	102,322
債券貸借取引受入担保金の純増減 (△)	9,212	△98,257
外国為替 (資産) の純増 (△) 減	△962	△2,017
外国為替 (負債) の純増減 (△)	510	△313
普通社債発行及び償還による増減 (△)	—	30,000
のれん償却額	140	140
資金運用による収入	122,841	152,937
資金調達による支出	△36,505	△48,411
その他	△42,989	36,809
小計	△872,776	△329,824
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△24,657	△15,344
営業活動によるキャッシュ・フロー	△897,433	△345,169

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△601,631	△712,992
有価証券の売却による収入	253,037	369,740
有価証券の償還による収入	144,672	151,211
金銭の信託の増加による支出	△4,094	△900
金銭の信託の減少による収入	15,551	1
有形固定資産の取得による支出	△4,044	△2,528
無形固定資産の取得による支出	△6,319	△7,475
有形固定資産の売却による収入	311	146
有形固定資産の除却による支出	△0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△202,518	△202,797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△13,047	△15,649
非支配株主への配当金の支払額	△52	△16
自己株式の取得による支出	△5,001	△5,152
自己株式の売却による収入	481	1
リース債務の返済による支出	△97	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,718	△20,907
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,117,659	△568,857
現金及び現金同等物の期首残高	2,803,038	1,685,379
現金及び現金同等物の期末残高	1,685,379	1,116,522

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

1 報告セグメントの概要

当社グループは、株式会社広島銀行において展開している「銀行業」とひろぎんリース株式会社において展開している「リース業」の2つを報告セグメントとしております。

「銀行業」では、預金業務、貸出業務、有価証券投資業務及び為替業務等を行っております。

「リース業」は、リース業務等を行っております。

2 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表の作成方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益をベースとした数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、実際の取引価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に 対する経常収益	167,062	22,697	189,759	11,608	201,368	—	201,368
セグメント間の 内部経常収益	1,559	329	1,889	30,069	31,958	△31,958	—
計	168,621	23,027	191,649	41,677	233,326	△31,958	201,368
セグメント利益	47,716	1,474	49,191	24,934	74,125	△21,948	52,176
セグメント資産	12,064,317	95,419	12,159,736	515,357	12,675,094	△543,189	12,131,905
セグメント負債	11,607,174	86,699	11,693,873	27,728	11,721,601	△94,332	11,627,269
その他の項目							
減価償却費	6,135	823	6,959	202	7,162	△38	7,123
資金運用収益	124,838	1	124,839	21,977	146,816	△22,101	124,714
資金調達費用	38,859	389	39,248	40	39,289	△334	38,955

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、金融商品取引業務、債権管理回収業務及びIT関連業務等を含んでおります。なお、外部顧客に対する経常収益の「その他」には、持分法による投資利益56百万円が含まれております。

3. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△21,948百万円には、セグメント間の取引消去△21,813百万円及びのれんの償却額△135百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△543,189百万円は、セグメント間の取引消去等であります。

(3) セグメント負債の調整額△94,332百万円は、セグメント間の取引消去等であります。

(4) 減価償却費の調整額△38百万円は、未実現損益に係る調整であります。

(5) 資金運用収益の調整額△22,101百万円は、セグメント間の取引消去等であります。

(6) 資金調達費用の調整額△334百万円は、セグメント間の取引消去であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に 対する経常収益	214,414	23,465	237,880	13,334	251,214	—	251,214
セグメント間の 内部経常収益	1,333	304	1,637	15,548	17,186	△17,186	—
計	215,747	23,769	239,517	28,882	268,400	△17,186	251,214
セグメント利益	56,905	1,438	58,343	10,704	69,048	△7,029	62,018
セグメント資産	12,130,366	99,390	12,229,756	537,005	12,766,761	△556,172	12,210,589
セグメント負債	11,571,213	89,665	11,660,879	61,989	11,722,868	△81,103	11,641,764
その他の項目							
減価償却費	6,119	701	6,821	237	7,059	△50	7,008
資金運用収益	157,450	1	157,451	7,189	164,640	△7,351	157,289
資金調達費用	52,777	541	53,318	202	53,521	△434	53,086

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、金融商品取引業務、債権管理回収業務及びIT関連業務等を含んでおります。なお、外部顧客に対する経常収益の「その他」には、持分法による投資利益72百万円が含まれております。
3. 調整額は、次のとおりであります。
- (1) セグメント利益の調整額△7,029百万円には、セグメント間の取引消去△6,894百万円及びのれんの償却額△135百万円が含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額△556,172百万円は、セグメント間の取引消去等であります。
 - (3) セグメント負債の調整額△81,103百万円は、セグメント間の取引消去等であります。
 - (4) 減価償却費の調整額△50百万円は、未実現損益に係る調整であります。
 - (5) 資金運用収益の調整額△7,351百万円は、セグメント間の取引消去等であります。
 - (6) 資金調達費用の調整額△434百万円は、セグメント間の取引消去であります。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産	1,679円10銭	1,904円72銭
1株当たり当期純利益	118円55銭	145円84銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	118円49銭	145円75銭

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益			
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	35,835	43,734
普通株主に帰属しない金額	百万円	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	35,835	43,734
普通株式の期中平均株式数	千株	302,258	299,873
潜在株式調整後1株当たり当期純利益			
親会社株主に帰属する当期純利益調整額	百万円	—	—
普通株式増加数	千株	171	171
うち新株予約権	千株	171	171
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—	—

2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(役員報酬BIP信託口・76131口、従業員持株ESOP信託口・76905口)が所有している当社株式については、連結財務諸表において自己株式として会計処理しているため、1株当たり情報の算定上の控除する自己株式に含めております。

1株当たり情報の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は3,154千株(前連結会計年度は3,719千株)、期中平均株式数は3,342千株(前連結会計年度は4,158千株)であります。

(重要な後発事象の注記)

(子会社の設立)

当社は、2025年11月10日開催の取締役会において、当社完全子会社であるひろぎんエリアデザイン株式会社が100%出資する子会社の設立を決議し、2026年4月1日付で設立いたしました。

1. 設立の目的

当社は、中期計画2024（計画期間：2024年度～2028年度）において、2033年度（計画から10年後）の目指す姿（活力ある地域：「人」が集まるまち・観光立県等）の実現に向け、「街づくり」をはじめとした8つのマテリアリティ（地域の優先取組課題）を明確化するとともに、既存事業の深化および新事業への積極的な投資を行う中、その課題解決に向けて取り組んでおります。

特に「街づくり」においては、地域の魅力や生活利便性の向上等により、「ひと」が集まり、「しごと」が創出される地域活性化の好循環を生み出す重要なマテリアリティと捉えており、不動産関連ファイナンス（金融サービス）のみならず、行政や再開発事業者等へのコンサルティング（非金融サービス）も含め、グループ一体となって「街づくり」に関する取組みを推進しております。

こうした取組みを一層推し進めるべく、これまで不動産ファイナンス等で培ったノウハウや専門人財を有効に活用し、再開発等の初期・事業化段階において用いられる「不動産私募ファンド」の組成・運用を担う会社を、新たに設立することとしました。

2. 子会社の概要

(1)名称	ひろぎんリージョナルアドバイザーズ株式会社
(2)事業内容	私募ファンドの組成・運用に関する投資助言業務
(3)設立年月日	2026年4月1日
(4)資本金	100百万円
(5)株主	ひろぎんエリアデザイン株式会社

(自己株式の取得)

当社は、2026年5月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について、以下のとおり決議いたしました。

1. 取得対象株式の種類	普通株式
2. 取得する株式の総数	6,000,000株（上限）
3. 株式の取得価額の総額	70億円（上限）
4. 取得期間	2026年5月15日から2026年7月31日まで

【 目 次 】

1. 損益状況	【連結】 【単体】	… 1
2. ROE	【連結】	… 3
3. 自己資本比率（国内基準）	【連結】 【単体】	… 3
4. 業務純益	【単体】	… 3
5. 利鞘	【単体】	… 4
6. 有価証券関係損益	【単体】	… 5
7. 有価証券評価損益	【連結】 【単体】	… 5
8. 貸出金の残高	【単体】	… 7
9. 貸倒引当金	【連結】 【単体】	… 7
10. 金融再生法開示債権・リスク管理債権	【連結】 【単体】	… 8
11. 金融再生法開示債権の保全状況	【単体】	… 8
12. 業種別貸出状況等	【単体】	… 10
13. 預金等の残高	【単体】	… 11
14. 総預り資産残高	【連結】	… 12
(参考) 広島銀行単体 財務諸表	【単体】	… 13

※【連結】は、ひろぎんホールディングスの連結計数を表示しております。
【単体】は、広島銀行の単体計数を表示しております。

2026年3月期 決算ハイライトおよび「中期計画2024」の見直し … 別添

未来を、ひろげる。



1. 損益状況

【ひろぎんホールディングス 連結】

(単位：百万円)

		2026年3月期	2025年3月期	
			前年比	
連結粗利益	1	121,573	8,743	112,830
資金利益	2	104,202	18,443	85,759
役務取引等利益	3	27,890	1,832	26,058
特定取引利益	4	2,486	129	2,357
その他業務利益	5	△13,006	△11,662	△1,344
(うち国債等債券関係損益)	6	(△18,315)	(△12,021)	(△6,294)
営業経費	(△) 7	69,518	5,324	64,194
与信費用	(△) 8	3,364	439	2,925
貸出金償却	(△) 9	109	△3,837	3,946
個別貸倒引当金繰入額	(△) 10	7,694	7,694	[1,463] -
一般貸倒引当金繰入額	(△) 11	△537	△537	-[△2,709] -
貸出債権売却損等	(△) 12	347	79	268
貸倒引当金戻入益	13	-	△1,246	→ 1,246
償却債権取立益等	14	4,248	4,205	43
株式等関係損益	15	12,959	7,402	5,557
持分法による投資損益	16	72	16	56
その他	17	297	△554	851
経常利益	1-7-8+15+16+17	62,018	9,842	52,176
特別損益	19	△526	609	△1,135
税金等調整前当期純利益	20	61,492	10,451	51,041
法人税等合計	(△) 21	17,741	2,545	15,196
当期純利益	22	43,751	7,906	35,845
非支配株主に帰属する当期純利益	(△) 23	17	7	10
親会社株主に帰属する当期純利益	24	43,734	7,899	35,835
(参考)営業経費率	7 ÷ (1-6)	49.7%	△4.2%	53.9%

(注)「連結粗利益」は、(資金運用収益－資金調達費用)+(役務取引等収益－役務取引等費用+信託報酬)+ (特定取引収益－特定取引費用)+(その他業務収益－その他業務費用)で算出しております。

(参考：連結対象会社数)

(単位：社)

		2025年3月末		
		2026年3月末	2025年3月末比	
連結子会社数		12	-	12
持分法適用会社数		1	-	1

【広島銀行 単体】

(単位：百万円)

		2026年3月期		2025年3月期
			前年比	
業務粗利益	1	107,650	7,395	100,255
(うちコア業務粗利益)	1-7 2	(125,788)	(19,239)	(106,549)
資金利益	3	104,673	18,692	85,981
役務取引等利益	4	17,712	506	17,206
特定取引利益	5	1,716	130	1,586
その他業務利益	6	△16,451	△11,933	△4,518
(うち国債等債券関係損益)	7	(△18,138)	(△11,844)	(△6,294)
経費(除く臨時処理分)	(△) 8	62,073	4,559	57,514
人件費	(△) 9	28,990	2,509	26,481
物件費	(△) 10	28,994	2,133	26,861
税金	(△) 11	4,088	△83	4,171
実質業務純益	1-8 12	45,577	2,837	42,740
(コア業務純益)	2-8 13	(63,715)	(14,681)	(49,034)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	14	(63,715)	(14,681)	(49,034)
一般貸倒引当金繰入額	(△) 15	△584	△584	[△2,727] -
業務純益	12-15 16	46,161	3,421	42,740
臨時損益	18-19+25 17	10,743	5,767	4,976
株式等関係損益	18	13,226	7,669	5,557
不良債権処理額	(△) 19	3,315	939	2,376
貸出金償却	(△) 20	109	△3,837	3,946
個別貸倒引当金繰入額	(△) 21	7,129	7,129	[948] -
貸出債権売却損等	(△) 22	322	70	252
貸倒引当金戻入益	23	-	△1,779	1,779
償却債権取立益等	24	4,246	4,203	43
その他臨時損益	25	832	△962	1,794
経常利益	16+17 26	56,905	9,189	47,716
特別損益	27	△516	606	△1,122
うち固定資産関係損益	28	△516	606	△1,122
税引前当期純利益	29	56,388	9,794	46,594
法人税等合計	(△) 30	16,069	2,423	13,646
当期純利益	31	40,319	7,371	32,948
与信費用	15+19 (△) 32	2,730	354	2,376

2. ROE【ひろぎんホールディングス 連結】

(単位：%)

	2026年3月期	前年比	2025年3月期
	親会社株主に帰属する当期純利益ベース	8.15	1.26

3. 自己資本比率（国内基準）

信用リスク・アセットの算出においては基礎的内部格付手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては標準的計測手法を採用しております。

【ひろぎんホールディングス 連結】

(単位：億円)

	2026年3月末 〔速報値〕	2025年3月末比	2025年3月末
	(1)コア資本に係る基礎項目の額	5,189	230
(2)コア資本に係る調整項目の額	553	107	446
(3)自己資本の額 (1)－(2)	4,636	124	4,512
(4)リスク・アセットの額	42,636	1,784	40,852
(5)自己資本比率 (3)÷(4)	10.87%	△0.17%	11.04%

【広島銀行 単体】

(単位：億円)

	2026年3月末 〔速報値〕	2025年3月末比	2025年3月末
	(1)コア資本に係る基礎項目の額	5,023	527
(2)コア資本に係る調整項目の額	535	69	466
(3)自己資本の額 (1)－(2)	4,488	459	4,029
(4)リスク・アセットの額	42,079	1,604	40,475
(5)自己資本比率 (3)÷(4)	10.66%	0.71%	9.95%

4. 業務純益【広島銀行 単体】

(単位：百万円)

	2026年3月期	前年比	2025年3月期
	(1)コア業務純益	63,715	14,681
職員一人当たり(千円)	22,246	5,017	17,229
(2)実質業務純益	45,577	2,837	42,740
職員一人当たり(千円)	15,913	896	15,017
(3)業務純益	46,161	3,421	42,740
職員一人当たり(千円)	16,117	1,100	15,017

5. 利鞘【広島銀行 単体】

(全店)

(単位：%)

	2026年3月期	2025年3月期	
		前年比	
(1)資金運用利回	1.33	0.27	1.06
貸出金利回	1.27	0.17	1.10
有価証券利回	1.88	0.35	1.53
(2)資金調達原価	0.99	0.16	0.83
預金等利回	0.25	0.14	0.11
(3)預貸金利鞘	0.37	△0.01	0.38
(4)総資金利鞘 (1)－(2)	0.34	0.11	0.23

(国内業務部門)

(単位：%)

	2026年3月期	2025年3月期	
		前年比	
(1)資金運用利回	1.03	0.32	0.71
貸出金利回	1.09	0.27	0.82
有価証券利回	1.29	0.36	0.93
(2)資金調達原価	0.79	0.21	0.58
預金等利回	0.20	0.14	0.06
(3)預貸金利鞘	0.24	0.09	0.15
(4)総資金利鞘 (1)－(2)	0.24	0.11	0.13

(国際業務部門)

(単位：%)

	2026年3月期	2025年3月期	
		前年比	
(1)資金運用利回	3.16	△0.40	3.56
貸出金利回	2.66	△0.88	3.54
有価証券利回	4.28	0.13	4.15
(2)資金調達原価	2.15	△0.52	2.67
預金等利回	1.99	△0.16	2.15
(3)預貸金利鞘	0.02	△0.74	0.76
(4)総資金利鞘 (1)－(2)	1.01	0.12	0.89

6. 有価証券関係損益【広島銀行 単体】

(単位：百万円)

	2026年3月期	前年比	2025年3月期
	国債等債券関係損益	△18,138	△11,844
売却益	4,003	1,093	2,910
売却損 (△)	22,048	13,053	8,995
償却 (△)	92	△116	208
株式等関係損益	13,226	7,669	5,557
売却益	15,537	9,829	5,708
売却損 (△)	2,171	2,126	45
償却 (△)	139	35	104

7. 有価証券評価損益

【ひろぎんホールディングス 連結】

(単位：億円)

	2026年3月末					2025年3月末			
	連結 貸借対照表 計上額	評価損益	2025年 3月末比	評価益	評価損	連結 貸借対照表 計上額	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	846	△68	△37	－	68	751	△31	－	31
債券	846	△68	△37	－	68	751	△31	－	31
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他有価証券※	19,684	△128	150	1,366	1,494	18,528	△278	742	1,020
株式	1,254	656	203	744	88	1,132	453	527	74
債券	11,022	△1,282	△593	3	1,286	10,939	△689	1	690
その他	7,406	498	540	618	120	6,456	△42	213	255
うち外債	3,872	△67	77	24	92	3,186	△144	15	159
合計	20,530	△196	113	1,366	1,563	19,280	△309	742	1,052

(注) 1. 「その他有価証券」は時価評価しておりますので、評価損益は連結貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

2. 連結貸借対照表の「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金を含んでおります。

※債券に対する金利リスク低減を目的として、金利スワップによるヘッジ取引を行い、繰延ヘッジを適用しております。ヘッジ考慮後の評価損益は以下のとおりです。

(単位：億円)

	2026年3月末		2025年3月末
	評価損益	2025年 3月末比	評価損益
その他有価証券(ヘッジ考慮前)	△128	150	△278
金利スワップ	493	410	83
その他有価証券(ヘッジ考慮後)	365	559	△194

【広島銀行 単体】

(単位：億円)

	2026年3月末					2025年3月末			
	貸借対照表計上額	評価損益	2025年3月末比	評価益	評価損	貸借対照表計上額	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	846	△68	△37	—	68	751	△31	—	31
債券	846	△68	△37	—	68	751	△31	—	31
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券※	19,681	△128	150	1,366	1,494	18,524	△278	742	1,020
株式	1,254	656	204	744	88	1,132	452	527	74
債券	11,020	△1,282	△593	3	1,286	10,935	△689	1	690
その他	7,406	498	540	618	120	6,456	△42	213	255
うち外債	3,872	△67	77	24	92	3,186	△144	15	159
合計	20,527	△196	114	1,366	1,563	19,275	△310	742	1,052

(注) 1. 「その他有価証券」は時価評価しておりますので、評価損益は貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

2. 貸借対照表の「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金を含んでおります。

※債券に対する金利リスク低減を目的として、金利スワップによるヘッジ取引を行い、繰延ヘッジを適用しております。ヘッジ考慮後の評価損益は以下のとおりです。

(単位：億円)

	2026年3月末		2025年3月末
	評価損益	2025年3月末比	評価損益
その他有価証券(ヘッジ考慮前)	△128	150	△278
金利スワップ	493	410	83
その他有価証券(ヘッジ考慮後)	364	559	△194

8. 貸出金の残高【広島銀行 単体】

(1) 貸出金残高の内訳

(単位：億円)

(平 残)	2026年3月期	前年比	2025年3月期
貸出金残高	82,822	480	82,342
地共貸出	12,963	△4,000	16,963
事業性貸出	50,554	3,472	47,082
個人ローン	19,305	1,010	18,295
住宅ローン	13,115	1,042	12,073
その他ローン	6,190	△32	6,222

(単位：億円)

(末 残)	2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
貸出金残高	82,428	2,586	79,842
地共貸出	9,748	△3,232	12,980
事業性貸出	52,911	5,030	47,881
個人ローン	19,768	788	18,980
住宅ローン	13,611	863	12,748
その他ローン	6,157	△74	6,231

(2) 中小企業等貸出

(単位：億円)

	2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
中小企業等貸出残高	53,787	3,736	50,051
中小企業等貸出比率	65.3%	2.6%	62.7%

(注) 1. 中小企業等貸出残高は、個人ローン残高等を含んでおります。

2. 中小企業等貸出比率の分母となる貸出金は、特別国際金融取引勘定分を除いております。

9. 貸倒引当金

【ひろぎんホールディングス 連結】

(単位：百万円)

	2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
貸倒引当金	43,128	4,133	38,995
一般貸倒引当金	17,775	△538	18,313
個別貸倒引当金	25,353	4,671	20,682

【広島銀行 単体】

(単位：百万円)

	2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
貸倒引当金	40,435	4,200	36,235
一般貸倒引当金	17,384	△584	17,968
個別貸倒引当金	23,051	4,785	18,266

10. 金融再生法開示債権・リスク管理債権

・部分直接償却後で記載しております。

【ひろぎんホールディングス 連結】

(単位：百万円)

	2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,505	△896	9,401
危険債権	57,549	12,316	45,233
要管理債権	28,597	△439	29,036
三月以上延滞債権	1,699	△316	2,015
貸出条件緩和債権	26,898	△122	27,020
小計	94,652	10,982	83,670
正常債権	8,215,742	253,188	7,962,554
合計	8,310,395	264,171	8,046,224
不良債権比率	1.14%	0.10%	1.04%

【広島銀行 単体】

(単位：百万円)

	2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,174	△856	8,030
危険債権	57,549	12,316	45,233
要管理債権	28,597	△439	29,036
三月以上延滞債権	1,699	△316	2,015
貸出条件緩和債権	26,898	△122	27,020
小計 (A)	93,321	11,021	82,300
正常債権	8,264,365	253,260	8,011,105
合計	8,357,687	264,282	8,093,405
不良債権比率	1.12%	0.10%	1.02%

11. 金融再生法開示債権の保全状況【広島銀行 単体】

(単位：百万円)

	2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
カバー額 (B)	73,940	9,448	64,492
貸倒引当金 (C)	29,703	4,385	25,318
担保保証等による保全部分	44,237	5,063	39,174
開示債権額に対するカバー率 (B)/(A)	79.2%	0.8%	78.4%
(参考：部分直接償却前のカバー率)	82.6%	△0.8%	83.4%
担保保証等による保全のない部分 (D)	49,083	5,957	43,126
引当率 (C)/(D)	60.5%	1.8%	58.7%

《参考》自己査定・金融再生法開示債権・リスク管理債権との関係【広島銀行 単体】

(単位：百万円)

自己査定の債務者区分および分類額					金融再生法開示債権 リスク管理債権					
債務者区分	非分類	II分類	III分類	IV分類	区分 与信残高 93,321	保全額		カバー率	引当率	
						担保等による保全額	引当額			
破綻先 2,369	321	2,048	— (—)	— (—)	破産更生債権及び これらに準ずる債権 7,174	7,162	11	100%	100%	
実質破綻先 4,804	1,422	3,382	— (11)	— (—)						
破綻懸念先 57,549	42,330	10,136	5,082 (22,905)	— (—)	危険債権 57,549	29,560	22,905	91.2%	81.8%	
要管理先 36,488	5,507	30,981	—	—	要管理債権 28,597	7,514	6,785	50.0%	32.2%	
					三月以上延滞債権 1,699	1,684	3	99.4%	27.3%	
					貸出条件緩和債権 26,898	5,829	6,781	46.9%	32.2%	
要注意先 471,451	72,361	399,090	—	—	正常債権 8,264,365					
正常先 7,821,512	7,821,512	—	—	—						
合計 8,357,687	7,937,947	414,656	5,082	—	合計 8,357,687					

(注) 「自己査定の債務者区分および分類額」における () 内は分類額に対する個別貸倒引当金の引当額です。

12. 業種別貸出状況等【広島銀行 単体】

(1)業種別貸出金

(単位：百万円)

	2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	8,242,814	258,557	7,984,257
製造業	885,548	95,434	790,114
農業・林業	4,254	△288	4,542
漁業	1,009	△94	1,103
鉱業・採石業・砂利採取業	1,394	295	1,099
建設業	204,918	15,596	189,322
電気・ガス・熱供給・水道業	280,443	23,589	256,854
情報通信業	22,041	1,909	20,132
運輸業・郵便業	615,205	56,695	558,510
卸売業・小売業	638,719	15,168	623,551
金融業・保険業	511,063	22,009	489,054
不動産業・物品賃貸業	1,429,966	105,532	1,324,434
各種サービス業	503,791	44,762	459,029
国・地方公共団体	965,256	△327,480	1,292,736
その他	2,179,197	205,429	1,973,768
うち個人向け	1,507,443	78,646	1,428,797
うち船舶貸渡業(非居住者)	610,581	128,558	482,023

(注) 船舶貸渡業(非居住者)とは、国内船舶貸渡業者の海外子会社等です。

(単位：百万円)

	2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
船舶関連貸出金	1,116,640	148,818	967,822

(注) 船舶関連貸出金は、船舶貸渡業(国内及び非居住者)や造船業等を含んでおります。

(2)業種別金融再生法開示債権・リスク管理債権

(単位：百万円)

	2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
	国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	93,321	11,021
製造業	28,521	2,404	26,117
農業・林業	187	100	87
漁業	66	54	12
鉱業・採石業・砂利採取業	12	12	—
建設業	4,946	761	4,185
電気・ガス・熱供給・水道業	645	—	645
情報通信業	404	167	237
運輸業・郵便業	3,055	645	2,410
卸売業・小売業	17,666	4,826	12,840
金融業・保険業	0	△0	0
不動産業・物品賃貸業	10,252	△660	10,912
各種サービス業	17,957	2,121	15,836
国・地方公共団体	—	—	—
その他	9,604	589	9,015

13. 預金等の残高【広島銀行単体】

(単位：億円)

(平 残)	2026年3月期	前年比	2025年3月期
	預金等残高	95,139	1,609
個人預金	62,181	774	61,407
法人預金	29,108	837	28,271
公金・金融預金	3,850	△0	3,850

(注) 預金等は、譲渡性預金を含んでおります。

(単位：億円)

(未 残)	2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
	預金等残高	96,481	1,762
個人預金	62,508	1,039	61,469
法人預金	30,351	1,405	28,946
公金・金融預金	3,621	△682	4,303

(注) 預金等は、譲渡性預金を含んでおります。

14. 総預り資産残高【グループ合計】

(単位：億円)

	2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
	総預り資産残高	116,546	4,700
預金等	96,481	1,762	94,719
非預金商品	20,065	2,939	17,126
広島銀行	13,497	1,686	11,811
投資信託	2,343	381	1,962
公共債	1,458	297	1,161
保険	3,990	195	3,795
金融商品仲介	5,256	748	4,508
その他	449	65	384
ひろぎん証券(除く金融商品仲介)	6,511	1,200	5,311
ひろぎんライフパートナーズ	56	52	4

(注) 1.ひろぎん証券及びひろぎんライフパートナーズの残高は、時価ベースです。

2.「ひろぎんアプリ」を通じた金融商品仲介(楽天証券・SBI証券)は含んでおりません。

3.当年度から、保険残高の計上方法を見直ししており、過年度の残高についても変更しております。

(参考) 広島銀行単体 財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
現金預け金	1,725,605	1,151,996
現金	82,146	85,902
預け金	1,643,458	1,066,093
コールローン	63,746	201,874
買入金銭債権	6,759	7,293
特定取引資産	8,645	10,072
商品有価証券	1,527	1,485
特定金融派生商品	7,118	8,586
金銭の信託	22	21
有価証券	1,912,350	2,042,968
国債	593,795	589,482
地方債	283,736	238,269
社債	291,147	358,888
株式	117,567	129,605
その他の証券	626,103	726,722
貸出金	7,984,257	8,242,814
割引手形	7,946	6,599
手形貸付	34,953	26,239
証書貸付	7,152,538	7,434,683
当座貸越	788,818	775,291
外国為替	8,027	10,045
外国他店預け	6,415	7,695
買入外国為替	37	23
取立外国為替	1,574	2,325
その他資産	146,370	260,638
前払費用	1,319	1,156
未収収益	10,711	13,001
先物取引差入証拠金	864	842
金融派生商品	23,569	75,906
金融商品等差入担保金	49,484	37,355
その他の資産	60,422	132,375
有形固定資産	105,251	103,421
建物	35,800	34,573
土地	53,211	52,886
リース資産	310	251
建設仮勘定	211	317
その他の有形固定資産	15,716	15,393
無形固定資産	15,442	19,601
ソフトウェア	9,256	9,147
その他の無形固定資産	6,185	10,454
前払年金費用	52,218	58,051
繰延税金資産	16,456	—
支払承諾見返	55,398	62,003
貸倒引当金	△36,235	△40,435
資産の部合計	12,064,317	12,130,366

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
負債の部		
預金	9,305,930	9,496,433
当座預金	583,520	592,388
普通預金	5,893,753	6,024,004
貯蓄預金	94,455	94,611
通知預金	30,138	28,707
定期預金	2,168,536	2,275,306
定期積金	18	10
その他の預金	535,507	481,404
譲渡性預金	166,059	151,733
コールマネー	—	77,000
売現先勘定	249,066	274,389
債券貸借取引受入担保金	310,909	212,651
特定取引負債	6,122	7,561
特定金融派生商品	6,122	7,561
借入金	1,419,325	1,155,977
借入金	1,419,325	1,155,977
外国為替	1,172	859
売渡外国為替	444	254
未払外国為替	728	605
信託勘定借	79	127
その他負債	77,769	115,019
未決済為替借	487	322
未払法人税等	5,815	6,133
未払費用	8,277	11,751
前受収益	2,178	2,514
給付補填備金	1	0
金融派生商品	45,713	68,215
金融商品等受入担保金	5,007	14,078
リース債務	329	267
資産除去債務	307	321
その他の負債	9,651	11,415
睡眠預金払戻損失引当金	1,668	1,397
ポイント引当金	175	296
株式給付引当金	774	868
繰延税金負債	—	2,250
再評価に係る繰延税金負債	12,719	12,644
支払承諾	55,398	62,003
負債の部合計	11,607,174	11,571,213

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
純資産の部		
資本金	54,573	70,000
資本剰余金	30,634	45,208
資本準備金	30,634	45,208
利益剰余金	362,630	398,098
利益準備金	40,153	40,153
その他利益剰余金	322,477	357,945
別途積立金	289,604	289,604
繰越利益剰余金	32,873	68,341
株主資本合計	447,838	513,307
その他有価証券評価差額金	△18,496	△8,134
繰延ヘッジ損益	1,923	28,251
土地再評価差額金	25,877	25,727
評価・換算差額等合計	9,304	45,845
純資産の部合計	457,143	559,152
負債及び純資産の部合計	12,064,317	12,130,366

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
経常収益	168,621	215,747
資金運用収益	124,838	157,450
貸出金利息	90,903	105,192
有価証券利息配当金	28,713	39,026
コールローン利息	641	1,179
預け金利息	3,165	6,740
その他の受入利息	1,414	5,310
信託報酬	149	246
役務取引等収益	28,054	29,577
受入為替手数料	6,558	6,601
その他の役務収益	21,495	22,975
特定取引収益	1,586	1,716
商品有価証券収益	19	46
特定金融派生商品収益	1,567	1,669
その他業務収益	4,685	5,744
外国為替売買益	1,499	1,741
国債等債券売却益	2,910	4,003
金融派生商品収益	276	—
その他経常収益	9,308	21,013
貸倒引当金戻入益	1,779	—
償却債権取立益	43	4,246
株式等売却益	5,708	15,537
金銭の信託運用益	456	—
その他の経常収益	1,320	1,230
経常費用	120,904	158,842
資金調達費用	38,859	52,777
預金利息	10,235	22,945
譲渡性預金利息	282	951
コールマネー利息	22	390
売現先利息	11,823	11,339
債券貸借取引支払利息	1,275	2,517
借入金利息	441	675
金利スワップ支払利息	9,913	10,438
その他の支払利息	4,864	3,519
役務取引等費用	10,997	12,110
支払為替手数料	2,270	2,569
その他の役務費用	8,726	9,541
その他業務費用	9,204	22,196
国債等債券売却損	8,995	22,048
国債等債券償却	208	92
金融派生商品費用	—	54
営業経費	56,980	62,222
その他経常費用	4,863	9,535
貸倒引当金繰入額	—	6,545
貸出金償却	3,946	109
株式等売却損	45	2,171
株式等償却	104	139
その他の経常費用	766	570
経常利益	47,716	56,905

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
特別利益	41	34
固定資産処分益	41	34
特別損失	1,163	551
固定資産処分損	476	220
減損損失	687	331
税引前当期純利益	46,594	56,388
法人税、住民税及び事業税	14,350	13,879
法人税等調整額	△704	2,190
法人税等合計	13,646	16,069
当期純利益	32,948	40,319

2026年3月期決算ハイライト および 「中期計画2024」の見直し

2026年5月13日



目次

I. 2025年度の決算ハイライト	… p.2 - 13
II. 2026年度の業績予想	… p.14 - 15
III. 資本政策・株主還元	… p.16 - 17
IV. 「中期計画2024」の見直し	… p.18 - 24

未来を、ひろげる。



ひろぎんホールディングス

I. 2025年度の決算ハイライト

2025年度決算の概要

- ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益は、前年比79億円増益の437億円となり、2年連続で過去最高を更新。
- ▶ 連結ROEは、前年比1.3ポイント上昇の8.2%。

連結業績サマリー

(億円)

	2025年度	前年比	(増減率)	3月6日公表比
連結粗利益	1,215	87	(7.7%)	
(除く国債等債券関係損益)	1,398	207		
資金利益	1,042	185		
役務取引等利益	278	18		
特定取引・その他業務利益	△ 105	△ 115		
(うち国債等債券関係損益)	2 △ 183	△ 121		
営業経費 (△)	3 695	54		
与信費用 (△)	33	4		
株式等関係損益	2 129	74		
持分法による投資損益	0	0		
その他	2	△ 6		
経常利益	620	99	(18.9%)	5
特別損益	△ 5	6		
法人税等合計 (△)	177	26		
非支配株主に帰属する当期純利益 (△)	0	0		
親会社株主に帰属する当期純利益	437	79	(22.0%)	7
営業経費率 ※	49.7%	△ 4.2%		
連結ROE	8.2%	1.3%		

※ 営業経費率 = 営業経費 ÷ (連結粗利益 - 国債等債券関係損益)

2025年度決算のポイント

1 連結粗利益 (除く国債等債券関係損益)

- 地元を中心とした残高の積上げと預貸金利回り差の改善による貸出金収支の増加や、有価証券運用における収益力強化により、銀行の資金利益が大幅に増加
- 証券を中心にグループ会社の増益も寄与し、役務取引等利益も増加

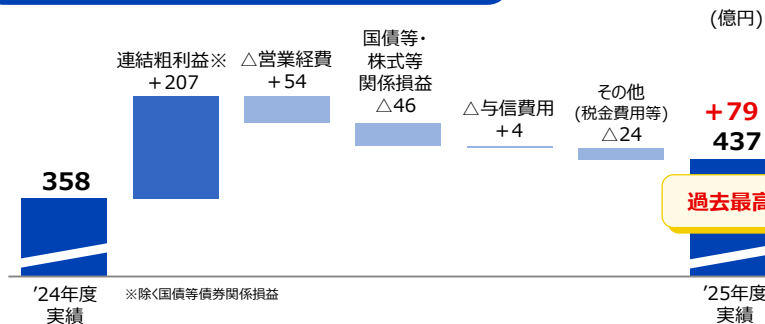
2 国債等債券関係損益/株式等関係損益

- 株式等の売却益を計上した一方で、ポートフォリオ改善に向け、低利回りの債券を約3,000億円処分

3 営業経費

- 人的資本投資やDX・IT投資を中心とした、成長投資へ積極的に投入
- 一方で、トップラインの伸長により営業経費率は大幅に改善

親会社株主に帰属する当期純利益の増減要因



主要グループ会社の実績 - 広島銀行 -

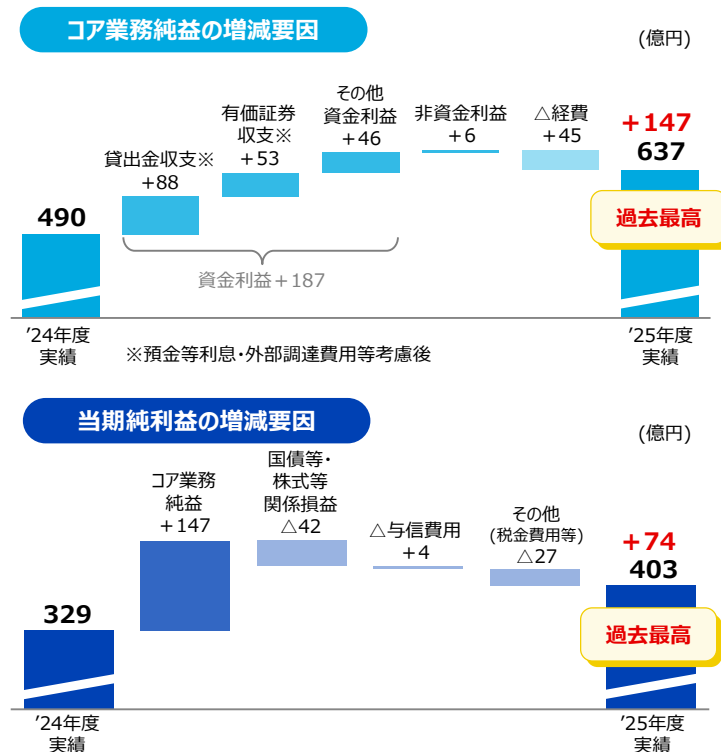
- ▶ コア業務純益(除く投信解約損益)は前年比147億円増益の637億円、当期純利益は前年比74億円増益の403億円となり、ともに過去最高を更新。

広島銀行 業績サマリー

(億円)

	2025年度	前年比	(増減率)
コア業務粗利益	1,257	192	(18.1%)
資金利益	1,046	187	
非資金利益	211	6	
法人ソリューション	86	10	
アセットマネジメント	39	△ 2	
個人ローン関連収益	35	0	
その他(内国為替、外国為替等)	51	△ 2	
経費(除く臨時処理分) (△)	620	45	
コア業務純益	637	147	(29.9%)
コア業務純益(除く投信解約損益)	637	147	(29.9%)
国債等債券関係損益	△ 181	△ 119	
実質業務純益	455	28	(6.6%)
与信費用 (△)	27	4	
株式等関係損益	132	77	
その他臨時損益	8	△ 9	
経常利益	569	92	(19.3%)
特別損益	△ 5	6	
法人税等合計 (△)	160	24	
当期純利益	403	74	(22.4%)

コア業務純益・当期純利益の増減要因



主要グループ会社の実績 - 広島銀行以外 -

- ▶ 各社とも業績は概ね増益。
- ・ ひろぎん証券の好調な業績が牽引し、グループ会社当期純利益の合計は前年比7億41百万円増益。

主要グループ会社 業績サマリー

金融連結子会社

非金融連結子会社

ひろぎん証券

(百万円)	2025年度	前年比
業務粗利益	5,910	1,191
経常利益	1,665	987
当期純利益	1,174	696

ひろぎんリース

(百万円)	2025年度	前年比
業務粗利益	3,284	294
経常利益	1,438	△ 36
当期純利益	1,001	61

しまなみ債権回収

(百万円)	2025年度	前年比
業務粗利益	796	112
経常利益	273	176
当期純利益	200	145

ひろぎんキャピタルパートナーズ

(百万円)	2025年度	前年比
業務粗利益	245	13
経常利益	△ 383	△ 470
当期純利益	△ 264	△ 324

ひろぎんクレジットサービス

(百万円)	2025年度	前年比
業務粗利益	4,063	0
経常利益	2,018	111
当期純利益	1,338	84

保有株式等の評価損にかかる損失△444

ひろぎんライフパートナーズ※

(百万円)	2025年度	前年比
業務粗利益	52	45
経常利益	△ 2	54
当期純利益	△ 2	37

ひろぎんヒューマンリソース

(百万円)	2025年度	前年比
業務粗利益	335	27
経常利益	47	15
当期純利益	33	17

ひろぎんエリアデザイン

(百万円)	2025年度	前年比
業務粗利益	488	141
経常利益	91	32
当期純利益	77	26

ひろぎんITソリューションズ

(百万円)	2025年度	前年比
業務粗利益	1,004	△ 4
経常利益	110	△ 3
当期純利益	73	△ 8

グループ会社当期純利益※

(百万円)	2025年度	前年比
グループ会社 当期純利益	3,746	741

※ 銀行を除く連結子会社等の当期純利益に
出資比率を乗じた額の合計

※ '24年1月設立、7月事業開始

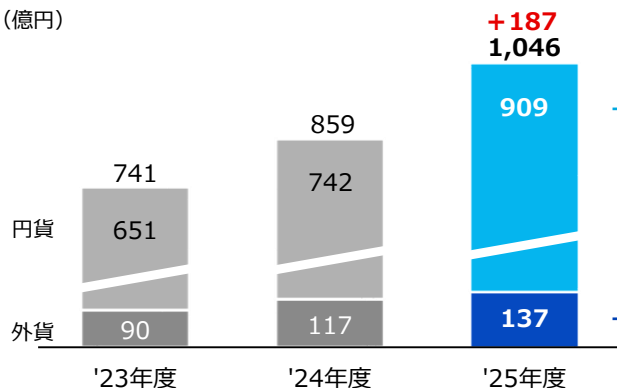
主要グループ会社の実績 - 広島銀行以外 -

主要グループ会社 実績

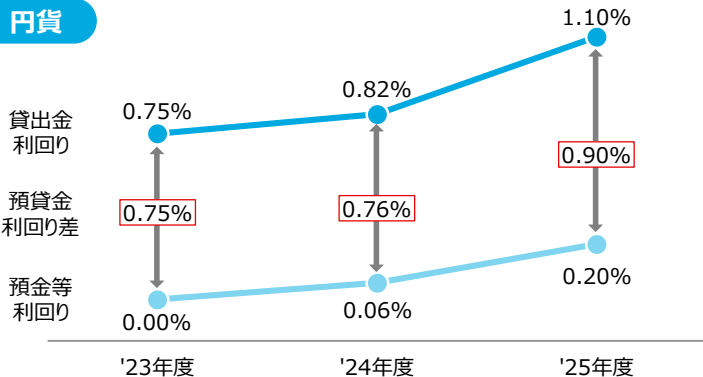
金融連結子会社	ひろぎん証券	預り資産残高	'25/3末 9,853億円	⇒	'26/3末 1兆1,900億円	'25/3末比 (+2,047億円)
	ひろぎんリース	営業資産 (リース資産・割賦債権・営業貸付金合計)	'25/3末 908億円	⇒	'26/3末 937億円	'25/3末比 (+29億円)
	しまなみ債権回収	債権買取額	'24年度 4億円	⇒	'25年度 7億円	'24年度比 (+3億円)
	ひろぎんキャピタル パートナーズ	出資残高 (ファンド・プリンシパル投資合計)	'25/3末 50億円	⇒	'26/3末 106億円	'25/3末比 (+56億円)
	ひろぎんクレジットサービス	保証残高	'25/3末 1兆933億円	⇒	'26/3末 1兆1,700億円	'25/3末比 (+767億円)
	ひろぎんライフパートナーズ <small>'24年1月設立、7月事業開始</small>	金融商品仲介口座数 <small>※設立以降累計</small>	'25/3末 94口座	⇒	'26/3末 293口座	'25/3末比 (+199口座)
非金融連結子会社	ひろぎんヒューマンリソース <small>'21年4月設立</small>	顧問契約社数	'25/3末 142社	⇒	'26/3末 152社	'25/3末比 (+10社)
	ひろぎんエリアデザイン <small>'21年4月設立</small>	受注案件数 <small>※設立以降累計</small>	'25/3末 115件	⇒	'26/3末 164件	'25/3末比 (+49件)
	ひろぎんITソリューションズ <small>'21年1月子会社化</small>	案件成約件数 <small>※子会社化以降累計</small>	'25/3末 694件	⇒	'26/3末 902件	'25/3末比 (+208件)

資金利益

(億円)

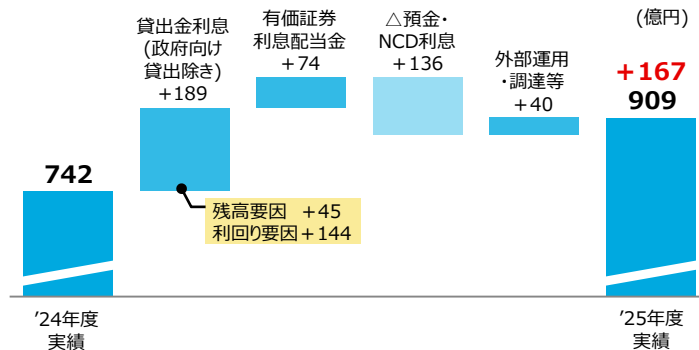


預貸金利回り

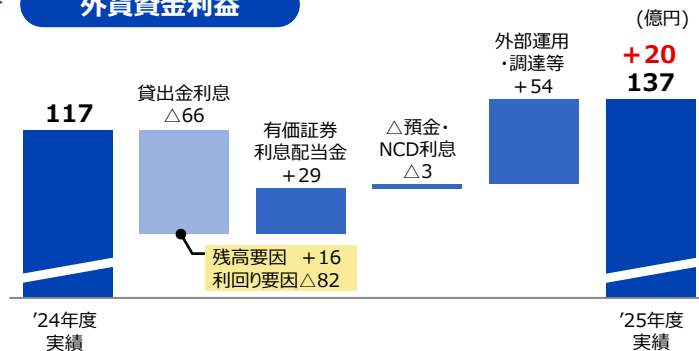


資金利益の増減要因

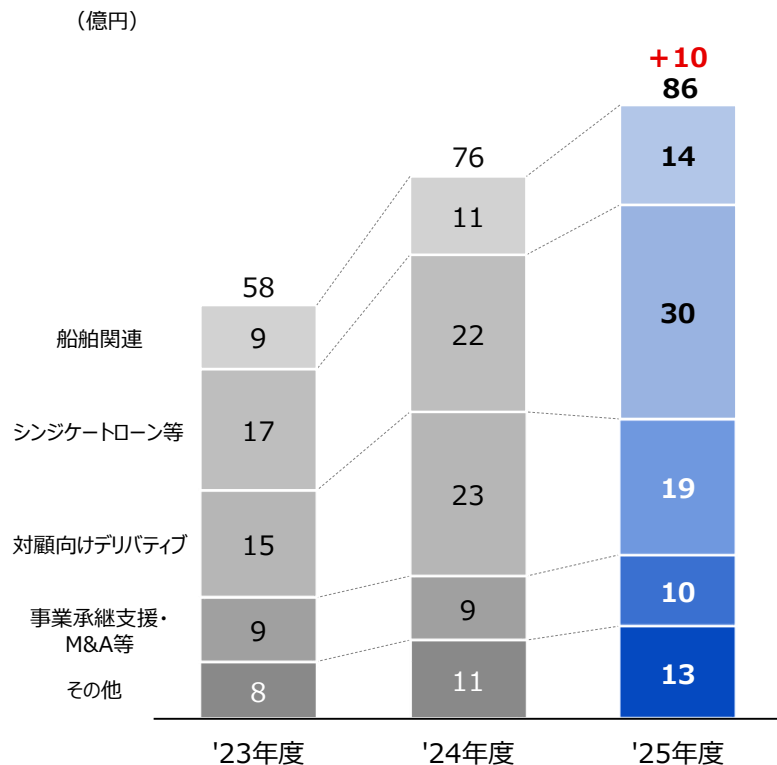
円貨資金利益



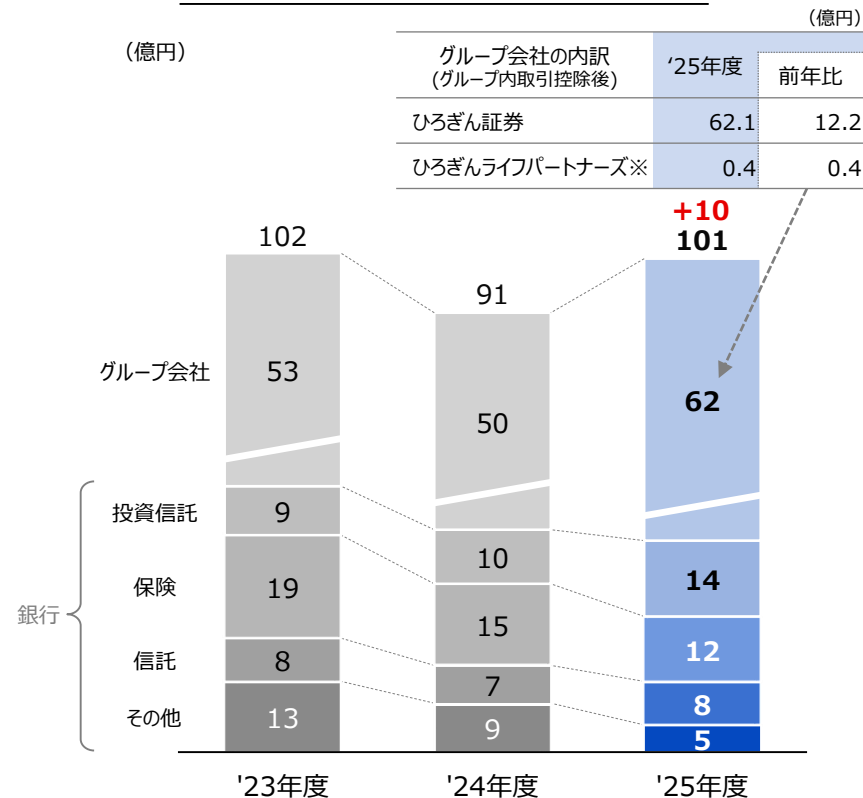
外貨資金利益



【銀行単体】法人ソリューションの内訳



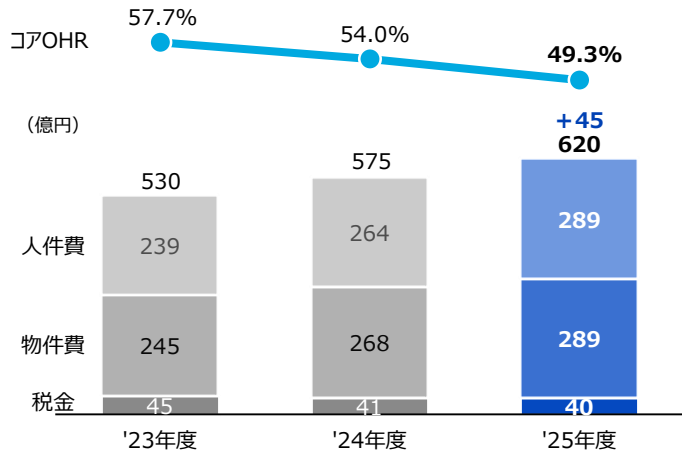
【HD連結】アセットマネジメントの内訳 (グループ合計)



※ ひろぎんライフパートナーズは、'24年7月事業開始

経費（除く臨時処理分）・コアOHR

$$\text{コアOHR} = \frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$$

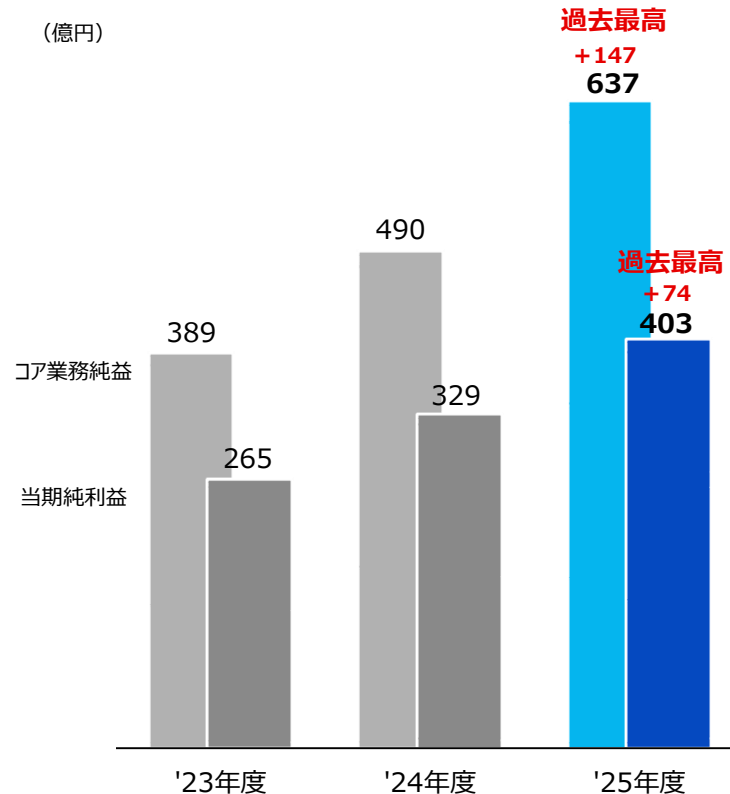


(参考) 経費の主な増減要因

- 人件費 **+25億円**
 - 人的資本投資 + 23 (人事制度改定、業績連動賞与、ペア等)
- 物件費 **+21億円**
 - DX・IT投資関連 + 10
 - 人的資本投資 (研修等) + 1
- 税金 **△1億円**

計 **+45億円**

コア業務純益／当期純利益

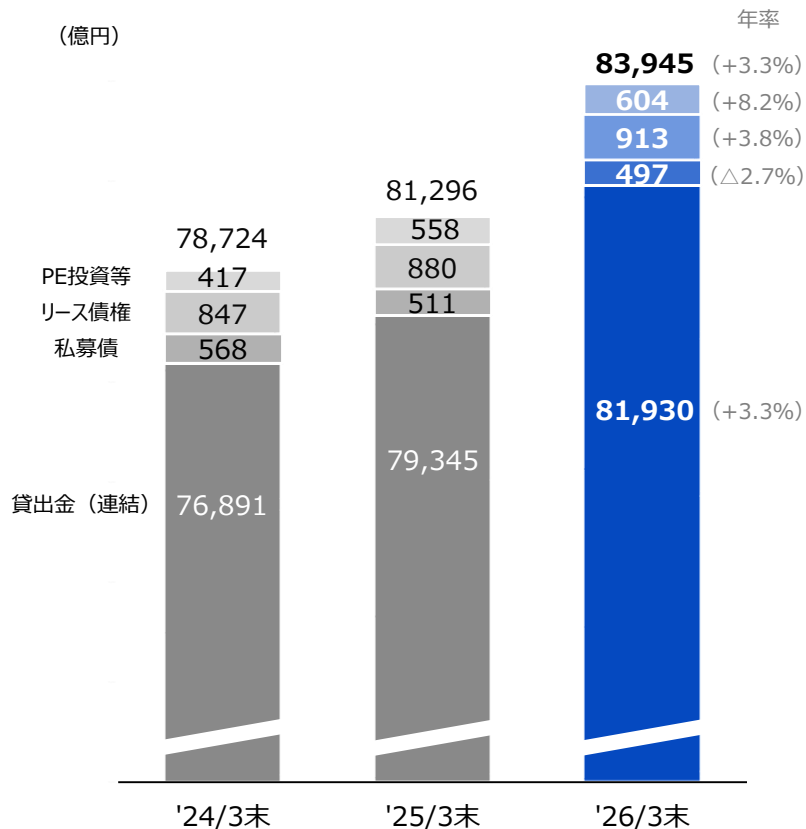


グループ総与信（未残）・貸出金（未残）

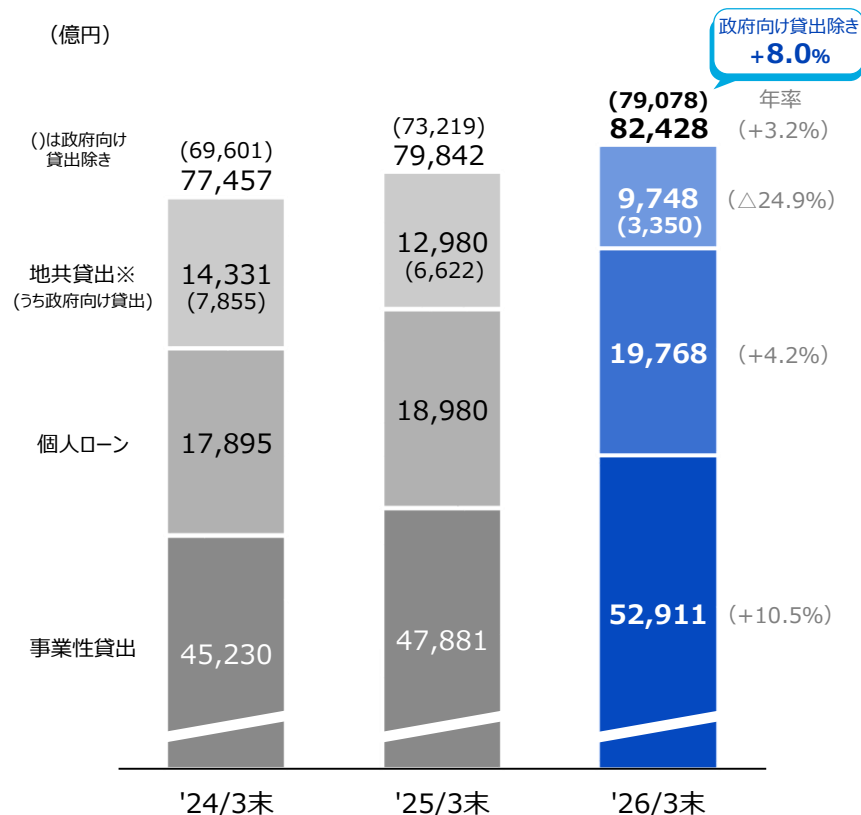
HD連結

広島銀行単体

【HD連結】グループ総与信（未残）



【銀行単体】貸出金（未残）



※ 地共貸出…地方公共団体、公社および政府向けの貸出

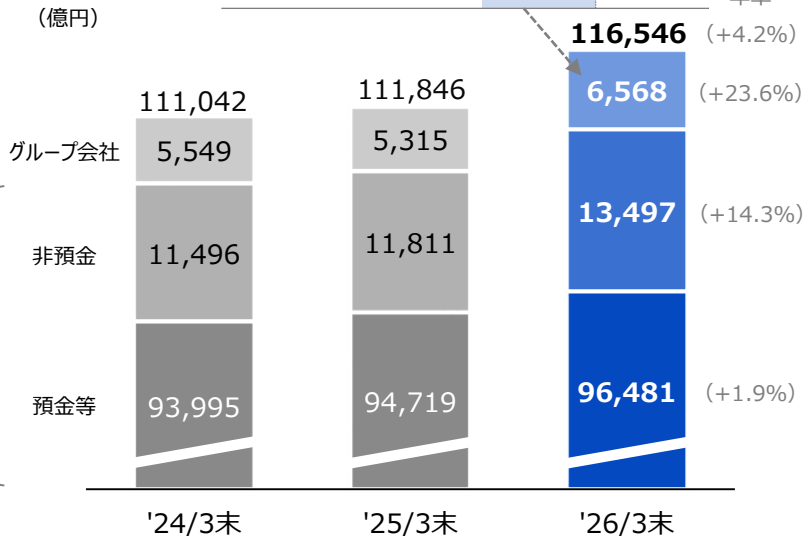
総預り資産（グループ合計 未残）、預金等（未残）

HD連結

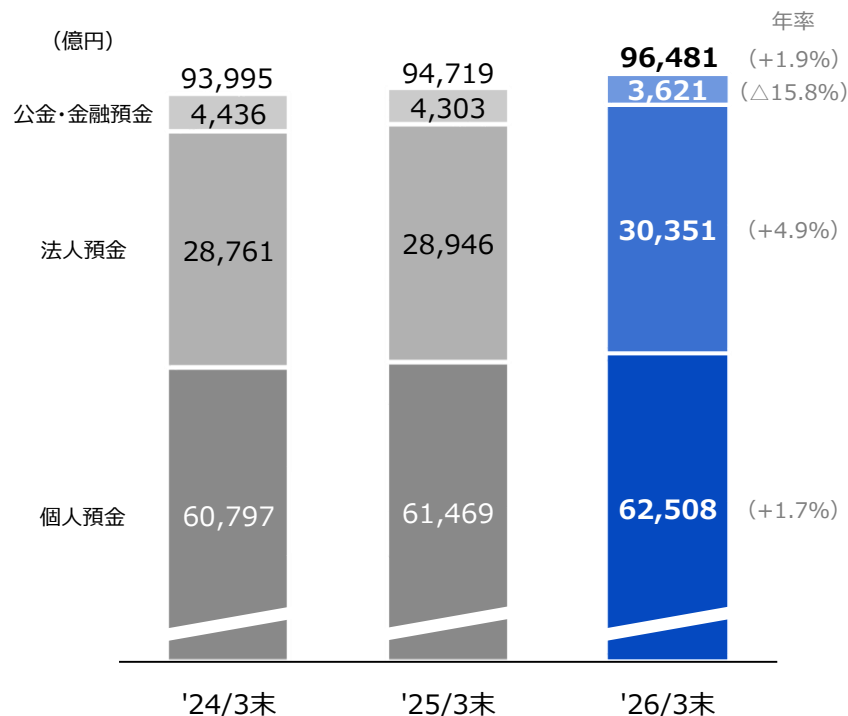
広島銀行単体

【HD連結】総預り資産（グループ合計 未残）

（億円）		
グループ会社の内訳	'26/3末	'25/3末比
ひろぎん証券※1	6,511	1,200
ひろぎんライフパートナーズ	56	52



【銀行単体】預金等（未残）



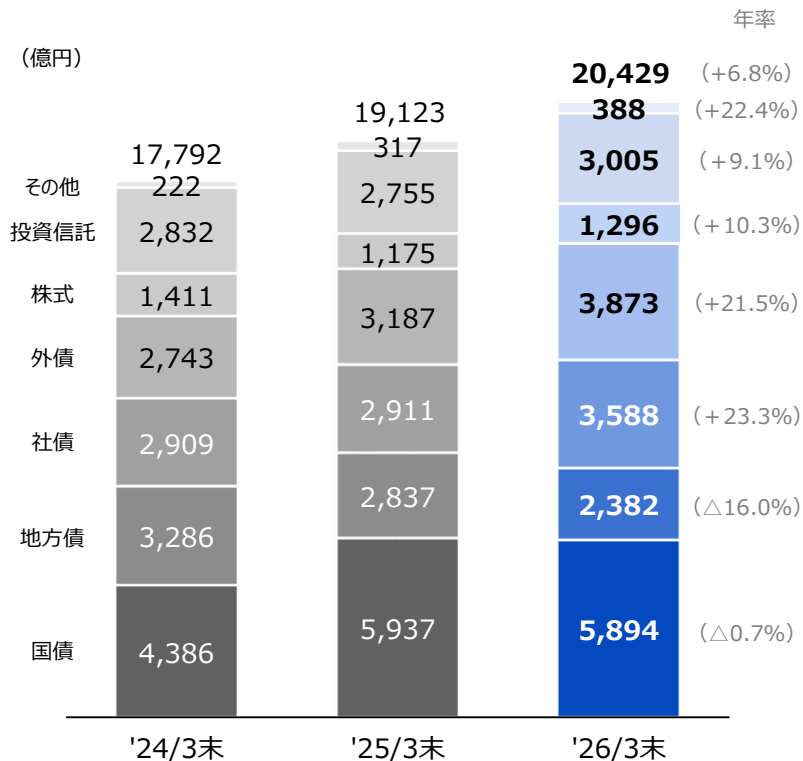
※1 ひろぎん証券の残高には、金融商品仲介は含んでおりません。

※2 グループ会社の残高は、時価ベースです。

※3 「ひろぎんアプリ」を通じた金融商品仲介（楽天証券・SBI証券）は含んでおりません。

※ 預金等は、譲渡性預金を含んでおります。

有価証券（未残）



有価証券評価損益

	(億円)	
	'26/3末	'25/3末比
満期保有目的	△ 68	△ 37
その他有価証券 ※	△ 128	150
株式	656	204
債券	△ 1,282	△ 593
国債	△ 831	△ 411
地方債	△ 155	△ 30
社債	△ 295	△ 152
その他	498	540
うち外債	△ 67	77
うち投資信託	566	474
合計	△ 196	114

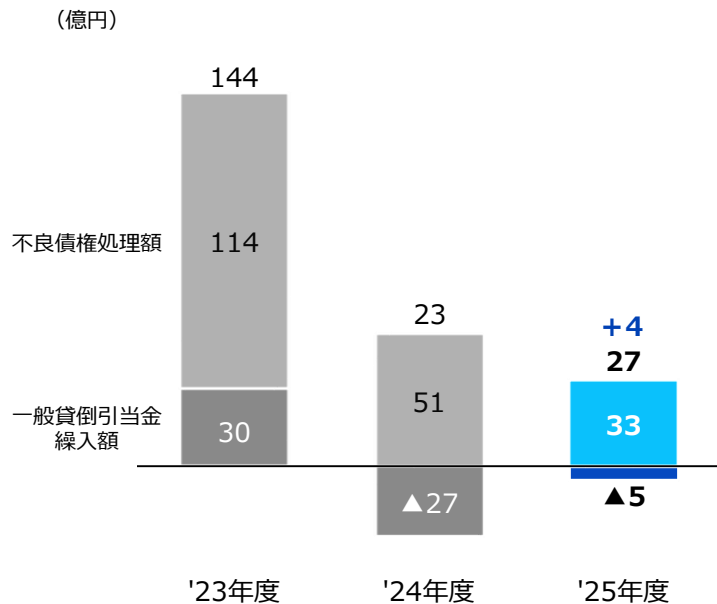
※ヘッジ考慮後の評価損益

その他有価証券(ヘッジ考慮前)	△ 128	150
金利スワップ	493	410
その他有価証券(ヘッジ考慮後)	364	559

	'25年度	前年比
有価証券利回り (外部調達コスト控除後)	1.00%	+0.33%

当初の「中期計画2024」目標
(残高2兆円、利回り1%以上)
を前倒しで達成

与信費用・与信費用比率

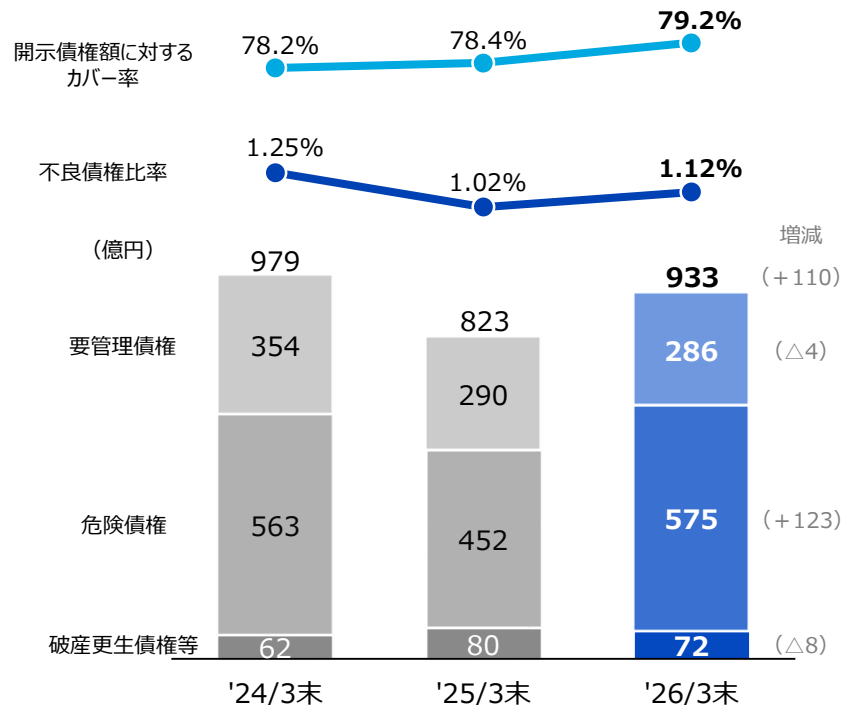


	'23年度	'24年度	'25年度
与信費用比率※	0.18%	0.02%	0.03%

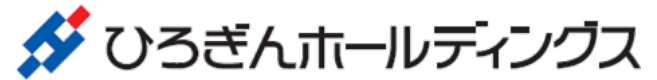
※ 与信費用比率 = 与信費用 ÷ 貸出金残高

金融再生法開示債権額・不良債権比率

$$\text{不良債権比率} = \frac{\text{金融再生法開示債権額}}{\text{総与信}} \quad \text{開示債権額に対するカバー率} = \frac{\text{カバー額 (貸倒引当金 + 担保保証等による保全)}}{\text{金融再生法開示債権額}}$$



未来を、ひろげる。



II. 2026年度の業績予想

2026年度の業績予想

- ▶ 2026年度の親会社株主に帰属する当期純利益は、3年連続の過去最高益となる510億円を見込む。

【HD連結】 (億円)

	中間期 業績予想	2026年度 業績予想	前年比
経常利益	345	745	125
親会社株主に帰属する 当期純利益	235	510	73
連結ROE		8.7%	0.5%

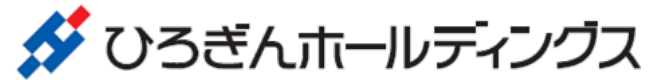
業績予想の前提となるマーケットシナリオ

円貨金利：(短期) 日銀政策金利 1.25%※ (長期) 10年国債金利 2.30%
 外貨金利：(短期) FF金利 3.50%※ (長期) 米10年国債金利 4.30%
 為替(ドル/円)： 150円
 日経平均株価： 55,000円
 ※2027年3月末時点

(参考) 広島銀行の2026年度の個別業績予想 (億円)

	中間期 業績予想	2026年度 業績予想	前年比
資金利益		1,185	139
非資金利益		215	4
コア業務粗利益		1,400	143
経費 (△)		665	45
コア業務純益		735	98
うち有価証券関係損益		15	64
うち与信費用 (△)		70	43
経常利益	320	685	116
当期純利益	220	475	72

未来を、ひろげる。



Ⅲ. 資本政策・株主還元

資本政策・株主還元

配当性向

利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的かつ持続的な増加を基本とし、**配当性向を40%程度**といたします

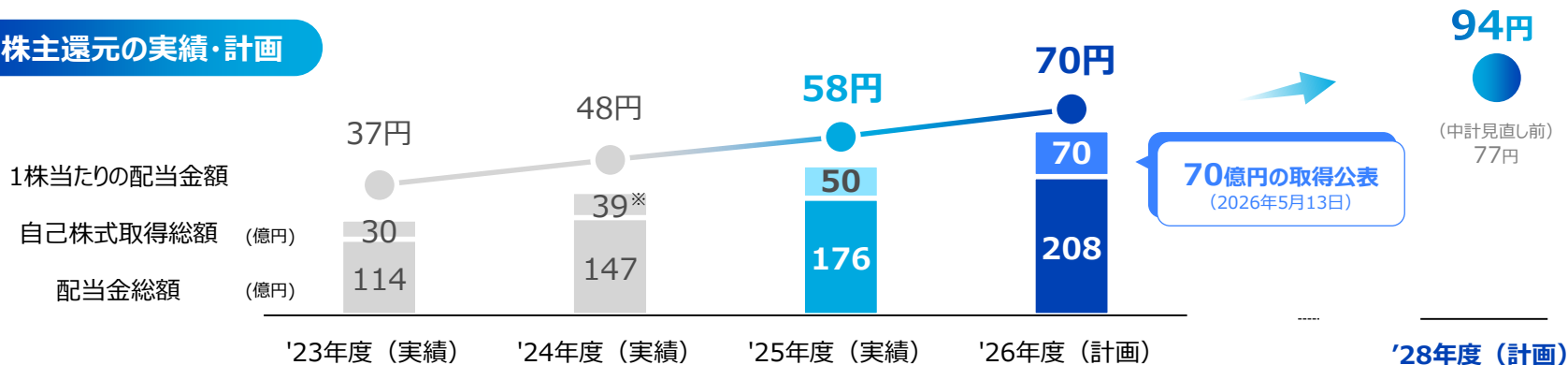
自己株式取得

財務の健全性を維持する中、業績動向や市場環境等を総合的に考慮したうえで**機動的に実施**いたします

2026年度 自己資本比率目標

(HD連結・銀行単体) 10%程度

株主還元の実績・計画



	'23年度 (実績)	'24年度 (実績)	'25年度 (実績)	'26年度 (計画)	'28年度 (計画)
配当性向	41.0%	40.5%	39.8%	40.5%	約40%
総還元性向	52.2%	51.7% [※]	51.6%	54.5%	-
DOE	2.4%	3.0%	3.4%	3.9%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	276億円	358億円	437億円	510億円	700億円

※ 取得額50億円のうち100万株は、ひろしま美術館に対する賛助を目的とした第三者割当による自己株式処分を実施しており、実質的な取得額は39億円として算出
 (注) DOEは、配当総額÷株主資本(期初・期末平均)にて算出

未来を、ひろげる。



IV. 「中期計画2024」の見直し

2028年度目標の主な見直し内容

見直し内容（中計最終年度：2028年度目標）

見直し前

見直し後

経営指標

連結ROE

9.5%以上 → 11%以上

連結自己
資本比率

10%程度 → 10%程度
(変更なし)

連結BPS

2,000円以上 → 2,200円以上

目指す
利益水準

親会社株主に
帰属する
当期純利益

570億円 → 700億円

見直しの背景（中計最終年度：2028年度の見通し）

Point
1

事業性貸出残高の堅調な伸び

詳細p.20

見直し前

見直し後

残高（平残）

5.5兆円程度 → 6兆円程度

年率

3%程度 → 6%程度

Point
2

有価証券ポートフォリオの改善

詳細p.21

見直し前

見直し後

資金利益

225億円 → 345億円

利回り

1.1%以上 → 1.7%程度

Point
3

政策金利シナリオの見直し

見直し前

見直し後

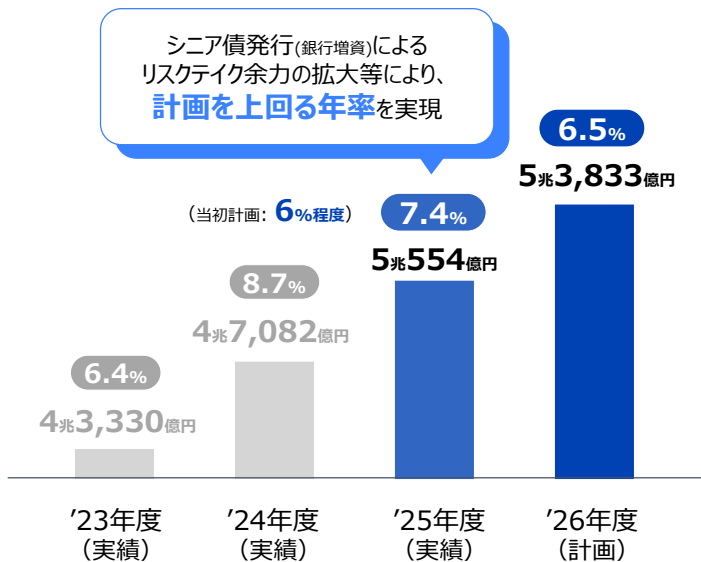
日銀政策金利

1.00% → 1.50%

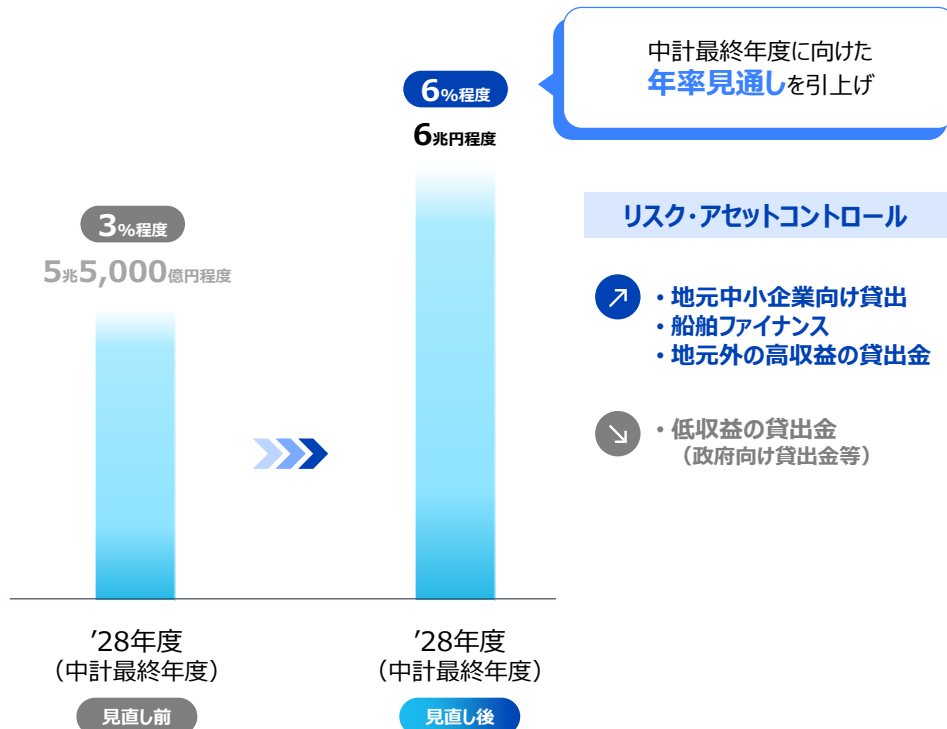
「中期計画2024」の進捗と今後の見通し - 事業性貸出 -

事業性貸出の進捗

● は、年率



中計最終年度（2028年度）の見通し



(注) 残高は平残

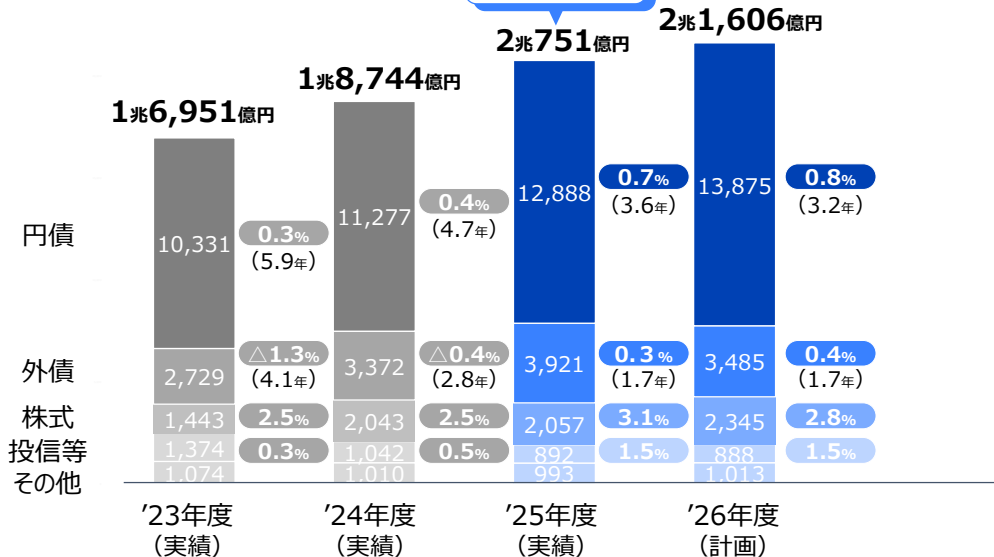
「中期計画2024」の進捗と今後の見通し - 有価証券運用 -

有価証券ポートフォリオ再構築の進捗

利回り	0.37%	0.67%	1.00%	約1.16%
資金利益	62億円	125億円	208億円	250億円
売買損益	62億円	▲3億円	▲49億円	15億円

() は、デレーション

低利回りの債券を
約3,000億円売却



中計最終年度（2028年度）の見通し

利回り	約1.1%	約1.7%
資金利益	225億円	345億円
売買損益	15億円	15億円

利回り計画
を引上げ

2兆円程度

2兆円程度

'28年度
(中計最終年度)

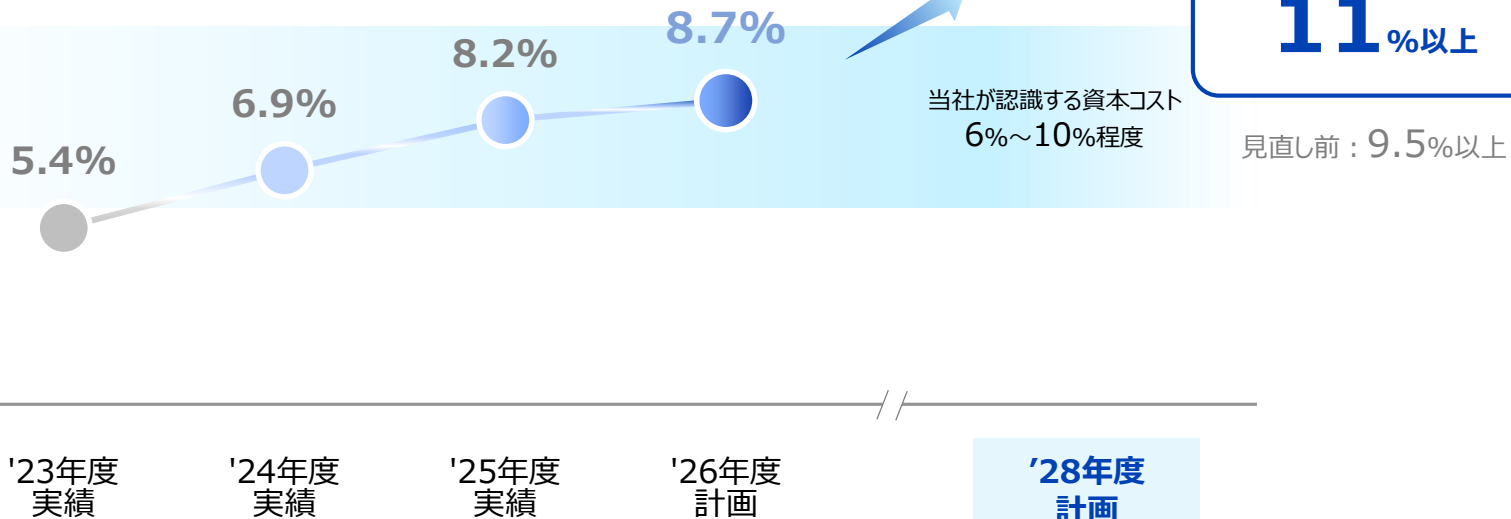
'28年度
(中計最終年度)

見直し前

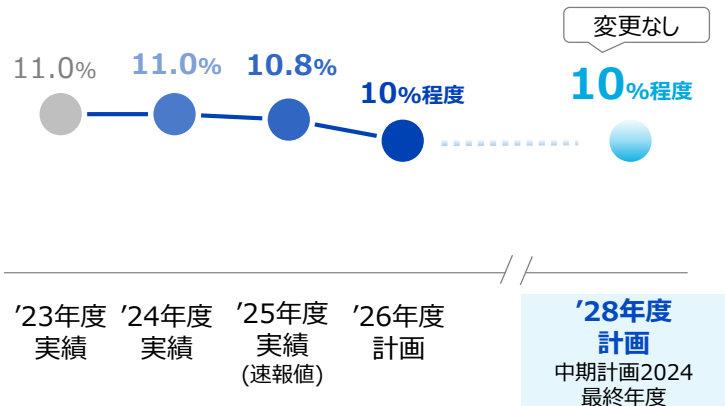
見直し後

(注) 内部管理計数ベース、残高は平残（簿価ベース）、
利回りは外部調達費用考慮後、有価証券残高（全体）に政策投資含み、投信等に特定金銭信託含む

上方修正 連結ROE

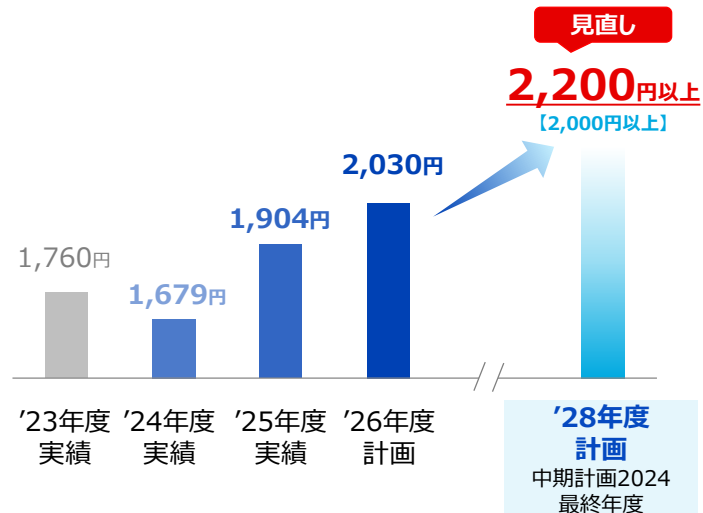


変更なし 連結自己資本比率



上方修正 連結BPS

【 】内は見直し前の目標値



地域活性化指標の達成に向けた当社グループの取組み

地域活性化指標

広島県の
人口社会増減

減少幅縮小
(2028年)

広島県の
観光消費額

継続的な増加※
(2028年)

広島県の
温室効果ガス排出量

継続的な削減
(2028年度)

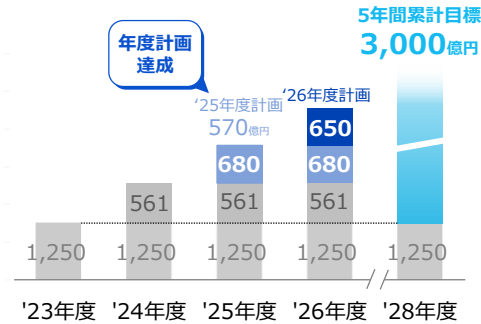
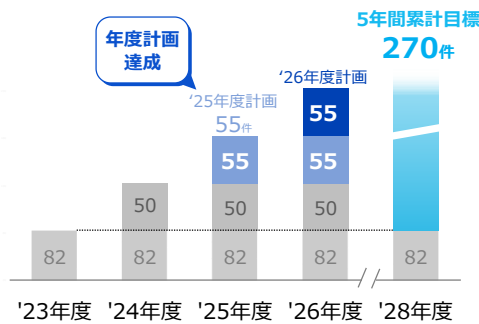
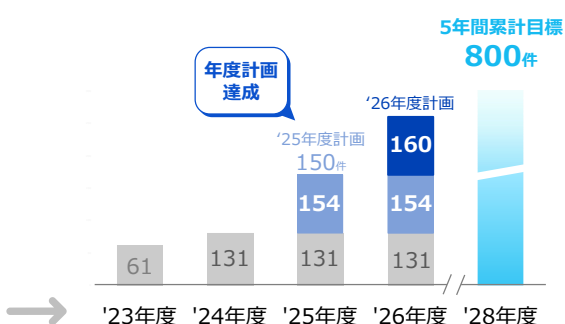
(※) 通過型から周遊型・滞在型観光
へシフトすることにより単価を引き上げる

当社グループの取組み

変更なし スタートアップ・ベンチャー支援の件数

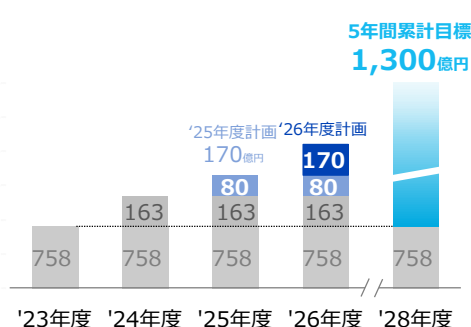
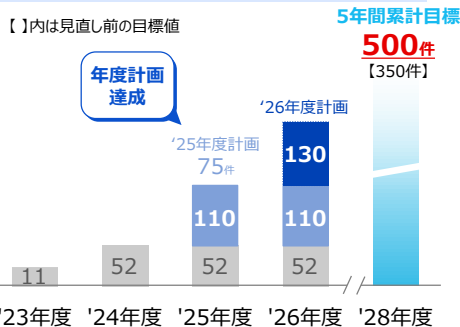
変更なし 街づくり・地域開発への関与件数

変更なし 環境ファイナンス実行額



上方修正 人材紹介の件数

変更なし 観光業への投融資額



「人材紹介の件数」の
5年間累計目標を上方修正